

令和 元年度版
創刊 第二十号

徐々に明かされ始めた新大学共通テストの作問内容

さて、左の記事は、六月八日付神戸新聞の記事です。神戸新聞だけに限らず、各社で取り上げられた記事ですが、いよいよ四十二回生をスタートとする、新大学共通テストについての具体的情報が、少しずつ提供され始めました。特に、大きく英語が取り沙汰されていますが、さて皆さんは、それらの情報が自分達のことと捉えているでしょうか。その情報に対して、自らがその情報の中で、どう関わろうとしていますか？

保護者の皆様。お子様は、自分の将来に対して、どれだけ悩み、そのための進路をどう真剣に捉えているように見えますか？「もう高校生だから」「自分の頃とは異なり、よく分からない」「子供を信用しているので」「子供のいうことを認めてやりたい」

なるほど。確かに一理ある文言が並んでいます。だが、一番の根本を大人は忘れていませんか？

新大学共通テスト 作問方針決定
配点、リスニング・記述重視

[illegible]

最後のセンター試験 来年1月18、19日

大学入試センターに切り替わる「大
学共通テスト」に切り替わる「大
学入試センター」試験を来年1月18
日に実施すると発表した。試験期
間は9月30日・10月10日。試験は初
日に地理歴史・公民・「国語」「外
語」(英語・理科)「数学」
を行う。具体的受験条件をまだと
めていない。試験を利用する大
学など9月10日に配付する。

地理歴史・公民・理科では、同一
教科内の一部科目で平均点50点
以上の差がある場合、得点の高い
科目を優先する。また受験者数が1万人未
実数する、たまたま受験者数が1万人未
満の科目は対象にならない。検定科
は3科目以上受験する場合、1方
科、2科目の教科金が1万円、1

6月8日付 神戸新聞

いよいよ 我々の入試についてめい
姿を現してきます。

情報も適確にそれ以上に確かな学力の蓄積を。

共同通信・時事通信配信

れ3課課す。国語は最長の
問題で80〜120字程度を
上限に設定する。試験時間
は国語を現行の80分から1
00分に、数学2科目は60
分から70分にそれぞれ増や
す。

マーク式では新たに、前
問の答えと連動して次の問
題を解く形式を出題する場
合がある。

で伝える
文部科
の共通
の16
1月16
どを盛り
正式決定
教育委員
などにつ
までに公

人の夢は儚い

過干渉、適干渉。大変難しい。だからこそ面白い。何度立ち止まっても、何度後ろを振り返っても、再び、立ち上がり、前を向き、儚く感じた多くの夢から、自分の将来の道が開けてくるのではないのでしょうか。

中心学年としての一年も、もう三か月が過ぎました。

【 Time is Money . But really , Can we buy the Time if we have the Money ? 】

いま、42回生の日常には、こんなことが起きています。月曜以外の小テスト。小テストは、朝のSHRの時間に行っているはずなのに、月曜の早朝には、大教室2室を使った再テスト。お昼休みにも、別の教科の再テスト。翌日昼には再々テスト……。する方が悪いのか。やり方が悪いのか。どうして、2回目にはできるのか。あるいは、2回の受験ノルマを果たした後の罰書きノルマを、毎週粛々とこなす者。こんな光景は、なぜ起こるのでしょうか。

相高祭も終わり、次へのステップを踏み出せるこのタイミングで、一度深く考えて、期末考査へと向かってほしいと思います。

	承認済み 「連携元サービス: Benesse マナビジョン」 作成日時: 2019-03-04 21:41 更新日時: 2019-03-05 18:16
授業名・プログラム名	1年総合的な学習の時間「地域密着型探究活動」
研究テーマ	相生市及び相生市周辺地域の不動産屋と連携し、移住推進計画
研究目的・内容	アンケート調査などから、相生市の知名度が非常に低いことが分かった。幼稚園、小中学校における給食費の無料化、医療費の無料化など、子育てのための魅力的な制度が整っているにもかかわらず、それが知られていない。そこで、相生市の魅力的な事業の知名度向上のため、相生市及び相生市周辺地域の不動産屋と連携したポスターなどの掲示、駅などの人通りの多い場所でのモニユメントの設置という主に2つの内容を相生市
テーマを選んだ理由	私自身、相生市へ移住したばかりで、調査するまで数々の魅力的な事業についてほとんど知らず、非常にもったいないことだと感じた。そこで、相生市への移住者増加のためには、まず、事業についての知名度を向上させることが重要だと考えた。そのため、自立ポスターやモニユメントで目をひくことが出来れば、認知度の向上を図ることができ、結果的に相生市への移住者増加につながるのではないかと、テーマを選択し
開始日	2018年04月17日
終了日	2019年03月15日
研究のふりかえり・今後に活かしていきたいこと	探究活動を終えて、得た力が2つある。まず1つ目が、自分の意見を他者に明確に伝える力である。グループでポスター作成をする中で、記事の配置について話し合った際、どのような効果を見込んで配置の工夫を提案しているのかということを、明確に伝えられたと思う。また2つ目が、物事を深く考える力である。ホームページのデザインを行った際、既存の物を改良するという作業はとても難しかったが、「どうすれば良くなるのか、求められているものは何か」ということを深く考えた。様々な立場、視点からそれを考えることで、自分のアイデアを形にすることが出来た。今回の総合的な学習では、将来社会でどのような職種であっても必須である能力が身に付いたと思う。また、活動を通してアイデアを形にするという貴重な体験をし、他者との関わりの中で何かを造り上げることで、充実感、達成感を味わい、とても有意義な時間を過ごせた。

最近自分の活動を振り返ってますか

主に、総合的な学習の時間での探究活動に端を発し、Benesse マナビジョンに収めた活動報告の内容を、精選して文章化し、Japan e-portfolio に登録、担任の先生等に承認をして頂いて久しくなります。二学年になり、ペーロンの野外活動・各部活動での活躍・資格の取得等、自分の活動を振り返り、承認をする機会がありますが、実際にその振り返りは出来ていますか？他人事にならないで、自分の主体的で、仲間との協働的な活動報告を、継続して行いましょう。左の活動報告は、4・2回生の生徒の報告例です。理路整然とし、大変読みやすく、何を伝えたいのかがよく分かります。是非、参考にしてもらいたいと思います。

報告もさることながら、報告のために文章をどう構築するかを考える時間・労力が、この取り組みにおける本当の狙いだと、感じるようになっていきます。

相高祭を前にして、42回生の Japan e-portfolio 承認済みデータは460件に達しています。一人1件は少なくとも登録しているはずですが、お子様とそんな会話もして頂けるとありがたいです。

第42回相高祭 2年生は全クラス演劇に挑戦しました!!



1 組

『今日から俺は』

2 組

『相高×ハリーポッター!』

3 組

『現代版竹取新喜劇』

4 組

『相高生探偵コナン』

5 組

『2 年 5 組

～今から皆さんは人質です～』

プログラム表紙を拡大した、学年色のカラフルなシートに導かれて、第 4 2 回相高祭が開催されました。土曜日の天候の心配もさせられましたが、抜群の強運によって、バザーも片付けも無事に、まだ来ぬ梅雨を飛び越えた、台風の季節のような大雨をもやっつけてしまいました。昨年より始まった、第一学年の学年合唱も、一年前のことも思い浮かべながら、さらに素晴らしい唄声を届けてもらえたことに感激し、感謝したいと思います。相高祭の伝統になってくれそうです。その一番手に 4 2 回生が語られることは本当にありがたいことですね。そして、相高祭の頃に、出会いと別れが…。



教育実習生 鈴木貴子先生より

3 週間教育実習生として、私を受け入れてくれてありがとうございました。相生高校は私の母校でもあるのですが、生徒から教員へと立場が変わって過ごすこの 3 週間は、学ぶことだらけの毎日でした。私が 2 年生の授業に行けたのは、4 組・5 組の保健と 1 組の SHR だけで、2 組・3 組の人とは関わることもできる時間が少なかったのが本当に残念でした。せっかく第 2 学年のメンバーに混ぜてもらったので、保健も体育も全クラスに行きたかったです。しかし、廊下で言えば挨拶をしてくれたり、声を掛けてくれたりと、優しく接してくれたのでとても嬉しかったです。

私がこの 3 週間で学んだことは、「情熱・愛情を持って生徒と接する」ということでした。教育実習が始まって、最初は保健・体育の授業、SHR において「上手くやらなければ」、「他の先生方のようにやらなければ」という焦りの気持ちでいっぱいでした。その結果、自分の伝えたいことが思うように伝えられず、上手く行かず悩む日が続きました。しかし、そんな時、ある先生から「上手くやろうではなく、自分が生徒をどうしてやりたいかという気持ちが大切だ」と声を掛けて頂きました。そこからは、自分が何を伝えたいのか、何をしてあげられるのか、皆さんにどうなって欲しいのかということを、常に考えながら接してきました。

元々、私が保健体育教員を目指そうと思ったきっかけが、身体を動かすことを苦手としていて、体育の授業を楽しめない生徒に、身体を動かすことが楽しいと思ってもらい、楽しんでもらえる体育の授業がしたかったからでした。教育実習で壁にぶつかったおかげで、自分の原点を再確認することができました。本当に良かったです。

最後に、皆さんに伝えたいことがあります。それは、高校 3 年間はあっという間に終わってしまうということです。勉強は勿論大事ですが、それ以外にも部活や遊び、自分が打ち込めるものなど全てに全力を注いで欲しいなと思います。やりたいと思ったことは、躊躇せずチャレンジして欲しいなと思います。後悔をしている訳ではないですが、私自身が高校時代もっと広い視野で色々なことを経験しておけば良かったなと思うから。

そして今周りにいる友達を大事にすること。大人になっても、今周りにいる友達は皆さんにとってきっと大事な存在となります。私も大人になってから気が付きました。

長くなりましたが、この 3 週間、皆さんや先生方の貴重な時間を頂いて、とても充実した濃い時間を過ごさせて頂きありがとうございました。相生駅などでまた会うことがあれば、是非声を掛けて来てください。皆さんと過ごした時間を本当に忘れません。

3 週間ありがとうございました。

人生の近い先輩・学校の先輩・そして、この先に 42 回生の一つの目標になるかもしれないですね! 3 週間に苦勞様でした。採用試験頑張ってくださいね。

**ステージ発表を終えた各クラス
(他の仕事で抜けている人等
ごめんなさい)**



自然科学コース 5 組
相高個性派集団

**緊張の中
好スタートを切ってくれました**



魔法学校クラス 2 組
意外な姿が見られました

**2日目も異様な盛り上がりからのスタートで難しいスタートで
あったと思いますが、前日の演劇の空気を上手く引き継いで、
最後まで42回生としてブレることなく集中してくれました。**



悔しさの涙は次への糧になる 1 組
アトラクション部門 最優秀賞



一つ一つが着実な安定の 3 組
アトラクションもご苦労様

**三日間のラスト
笑顔で42回生の演劇を締められました**



理系らしく理詰めで 4 組
待ちくたびれず冷静な演劇集団

さて、相高祭の成績発表としては

舞台部門

- 第 1 位 2 年 2 組
『相高×ハリーポッター！』
- 第 2 位 2 年 4 組
『相高生探偵コナン』

アトラクション部門

- 最優秀賞 2 年 1 組
『イントロクイズ』

次は、すぐに球技大会です。
勝負にこだわり、チームワークを育て、体育大会、修学旅行へ。
本音は、日々の学習習慣で、どんどんクラス対抗を行って欲しいものですね。

7月以降の予定

七月	三日(水)～九日(火)	期末考査
	九日(火)	職業ガイダンス
	十日(水)	球技大会(四十二回生生徒会主体)
	十一日(木)	午前中授業(1・2・3・4限)
	十二日(金)	挨拶運動
	十三日(土)	球技大会予備日
	十五日(月)	ベネッセ記述模試
	十七日(水)	海の日
	十八日(木)	GTECアセスメント(3・4限)
	十九日(金)	学年集会
	十九日(金)	終業式・大掃除
	二十日(金)	保護者懇談会(除く土日)
	二十二日(月)～二十九日(月)	夏休み前期補習(全員)
	二十九日(月)	油引き前清掃
		おもしろ科学実験教室(午後)
次年度へのイメージを持っておいってください 3年中期補習(主に、難関校受験希望者) 今年度は、七月三十日(火)～八月二日(金)まで		
八月	二日(金)	自然科学コース体験入学
	十三日(火)～十五日(木)	学校閉校日
	十九日(月)～二十七日(火)	後期補習(希望)
	二十八日(水)	全統記述模試(希望者)
九月	二日(月)	二学期始業式・大掃除・校内実力考査(数学)
	三日(火)	校内実力考査(国語・英語) +文系 +理系 +地歴 +化学 +物理・生物
	十四日(土)	土曜講座
	十八日(水)	体育大会予行
	二十日(金)	体育大会
	二十一日(土)	土曜講座

変更もあり得ますが、この予定で考えてください。

ちよつといい話

(私的な話でごめんなさい)

相高祭二日目。その日の夜、久しぶりに姫路のゆかた祭りに行きました。いくつかのクラスでは話をさせてもらいましたが、帰宅に向かう姫路駅北側の大通りで、警察帽姿のある青年に声を掛けられました。プライベートな時間とはいえ、何か悪いことをしたかなと錯覚していると、よく見れば、約十年前の卒業生でした。訳ありの生徒で、当時、素行、服装、態度等がなかなか優れず、部活動引退後には、ついには、「二度と俺の前に現れるな」と伝え、卒業式後の部活動のミーティングにも参加できなかった生徒でした。

そんな彼でしたが、大学生活の中で、あるいは、日々の社会生活の中で、何か自分に言われていたことの意味が理解できるようになって、前々任校にわざわざ足を運んで、高校時代の自分の未熟さを詫びにきてくれて、警察官、しかも、白バイ隊員を目指して頑張っているということを知りました。その年、その夢が叶い、警察学校入学直前に、原因不明の体調不良が発覚し、夢が途絶えました。まずは、体調を安定させて、そののち、次のことを考えたら、という会話をして以来の再会でした。最初に掛けた言葉は、「体調」についてでした。彼は、体調面についてはクリアできていること、そして、いよいよ白バイ隊員のチームに参加できるようになったことを、雑踏の中、警備をしている最中に、強いエネルギーを発して、力強い言葉をくれました。

難しい時代の教育に、どう向かい合うかを悩む日々ですが、こんな出来事に触れることが、まさにお金では買えない経験だと思います。本当に私的な話で申し訳ありませんが、ちよつとほっこりさせてもらえた出来事でした。

次回は一学期終業式に。
相高祭の感想を記載できればと思います。